

# 学 校 の 沿 革

1948 ～ 「宮崎大宮高校」が創立（定時制夜間部・通信教育部の設置） ※ 1961 ～ 通信制課程として認可  
 1969 ～ 宮崎大宮高校より定時制夜間部が「宮崎大宮第二高校」として独立  
 1974 ～ 「宮崎東高校」が創立（宮崎大宮高校通信制が年度進行で移行） ※ 1990 ～ 定時制昼間部の設置

年月日	定 時 制	通 信 制
昭和 22. 7. 1	旧宮崎県立宮崎中学校に夜間部を設置	
23. 4. 1	学制改革により、宮崎県立宮崎中学校・宮崎県立宮崎第一高等女学校・宮崎県立宮崎商業学校・宮崎県立宮崎女子商業学校の4校を統合して、宮崎県立宮崎大宮高等学校創立。総合高校として、全日制に普通科・商業科・家庭科・併設中学、定時制に夜間部、普通科・併設中学、通信教育部に高等部・中等部設置。初代校長として旧宮崎中学校長 野村憲一郎が就任。	
9. 1		中等部(国・数)、(国甲Ⅰ・Ⅱ)を開講
24. 4. 1 4.20  4.30 7.13 9. 1  25. 3.31	開校式を挙行      併設中学校自然廃止	校長兼任主事野村憲一郎就任 中学校、高等学校通信教育の修了認定に関する文部次官通達（中等部各教科毎、高等部国甲Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、解析Ⅰ、地学、人文地理）   宮崎県立宮崎大宮高等学校通信教育部規則認可 中等部職業指導、高等部国甲Ⅲ、解析Ⅰ、地学、人文地理を開講
25. 5. 1		通信教育に関する郵便料金軽減に関する法令改正
7.15	校長野村憲一郎県教育長に転出、宮崎県立延岡恒富高等学校長 野崎親が第2代校長に就任	
11. 5		一般数学開講
26. 4. 1	従来の普通科のほかに商業科を設置	
27. 4. 1   6. 7		宮崎県立延岡恒富高等学校通信教育部を宮崎県立宮崎大宮高等学校通信教育部に統合、漢文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、解析Ⅱ、幾何、一般社会開講 英語科開講
28. 4. 1 5. 4  29. 3.14	従来の普通科のほかに前期制商業科を設置	文部省中等教育課長通達実施科目の拡充(12科目計21科目)並びに卒業の資格として認定される単位数(56単位) 第1回卒業式
29. 4. 5  5.16  30. 3.31		文部省中等教育課長通達実施科目の拡充(12科目計23科目)並びに卒業の資格として認定される単位数(75単位) 九州地区通信教育研究協議会を本校において開催（3日間）
30. 4. 1	横山伊勢男が主事を退任 本校教頭高尾認が夜間部部長に就任	文部省初等中等教育局長通達（通信教育のみにより高校卒業を認められる）
31.12.18		高等学校通信教育規定が改訂され、通信教育は全面的に高等学校学習指導要領の基準によることになる。
32. 4. 1  6.12	校長 野崎親が宮崎県立泉ヶ丘高等学校長に転任、宮崎県立延岡恒富高等学校長 野口逸三郎が第3代校長に就任	通信教育部第1回入学式
35. 4. 1	校長 野口逸三郎が県教育長に就任、宮崎県立宮崎大淀高等学校長 小高秀二が第4代校長に就任	

36.10.31		全日制課程、定時制課程とともに通信教育部を通信制課程として認められる（法律第 166 号）
37. 9. 1		高等学校通信教育規定（昭和 31 年文部省令第 33 号）の全部を改訂
38. 3.12		教育関係使用料及び手数料徴収条例第 2 条改訂（38.4.1 施行一般授業料）
38. 4.1 4.13	新築鉄筋校舎が竣工	NHK 学園高等学校の協力校となる
39. 4. 1	高尾認が部長を辞任、渡辺茂夫が夜間部長に就任	
42. 4. 1	渡辺茂夫が部長を辞任、久米不可止が夜間部主事に就任	
44. 4. 1 4. 7 45. 3.31	宮崎県立宮崎大宮第二高等学校として独立 久米不可止が夜間部主事を辞任、県教育委員会 福井宗兵衛が初代校長に就任 福井宗兵衛が校長を辞任、県教育委員会 浜田 宣弘が第 2 代校長に就任 弦月湖埋め立て完了	校長 小高秀二退職
45. 4. 1		宮崎県立妻高等学校長 後藤賢三郎が第 5 代校長に就任
47. 4. 1	校長浜田宣弘が転出、宮崎県立日向工業高等学校長 板東運雄が第 3 代校長に就任	
48.11.16	宮崎県立定通モデル高等学校の開設準備のため 校長相当職に板東運雄が就任	
49. 4. 1 7. 1 7.19 9.24 50. 3. 1 3.31	<b>宮崎県立宮崎東高等学校設置、定時制課程普通科 4 学級 160 名と通信制課程普通科 300 名を募集、初代校長に板東運雄が就任</b> 宮崎大宮第二高等学校は、定時制課程の在校生全員を宮崎東高等学校に転籍して廃校 宮崎大宮高等学校通信制は、学年移行により 53 年度までに宮崎東高等学校通信制に移行 弦月湖跡に独立校舎第 1 期工事として管理棟及び南側棟が竣工 定時制課程が宮崎大宮高等学校校舎より移転完了、第 1 学期終業式当日から新校舎を使用 宮崎東高等学校校歌を制定（作詞 宮崎東高等学校長 板東運雄、作曲 宮崎大学教授園山謙二） 宮崎東高等学校校旗及び校章を制定 独立校舎第 2 期工事として北側棟及び体育館並びに格技室が竣工	
50.5.16	通信制が宮崎大宮高等学校より移転完了	
51. 4. 1	校長 板東運雄が宮崎県立妻高等学校長に転任、宮崎県立日南振徳商業高等学校長 土持綱之が第 2 代校長に就任	
53. 3.19	宮崎大宮高等学校第 2 4 回、宮崎東高等学校第 1 回卒業式	
54. 3.31	宮崎大宮高等学校通信制課程廃止	
55. 3	給食施設竣工	
56. 4. 1	校長 土持綱之が宮崎県立都城西高等学校長に転任、宮崎県立都農高等学校長 芝原幸範が第 3 代校長に就任 定時制課程普通科 3 学級（120 名）募集となる	
58. 4. 1	文部省定通教育研究指定（2 年間）	
59. 4. 1 11.18	校長 芝原幸範が宮崎県立本庄高等学校長に転任、宮崎県立児湯養護学校長 永友元夫が第 4 代校長に就任 宮崎県立定通モデル校宮崎東高等学校 10 周年記念式典挙行	
60. 4. 1 61. 3.31	校長 永友元夫が宮崎県立高鍋高等学校長に転任、宮崎県立日南振徳商業高等学校長 横溝正巳が第 5 代校長に就任 校長 横溝正巳が退任	
61. 4. 1	宮崎県立小林工業高等学校長 野間優が第 6 代校長に就任 定時制課程普通科 2 学級（80 名）募集となる	

昭和 63.3.31	文部科学省より「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」「単位制高等学校教育規程」公布 →昭和 63 年 4 月 1 日より施行
平成 2.3.31	校長 野間優が退任
2.4.1	宮崎県立宮崎東高等学校(単位制高等学校)として発足 前期(4月～9月)後期(10月～3月) ○定時制課程昼間の部(40名)……新設、○定時制課程夜間の部(40名) ○定時制課程土曜・日曜の部(60名)…新設、○通信制課程(300名) 第7代校長に県教育委員会より山下兼紀が就任
6.4.1	校長 山下兼紀が宮崎県立泉ヶ丘高等学校長に転任、県教育委員会より、田中重信が第8代校長に就任
8.4.1	校長 田中重信が宮崎県立都城西高等学校長に転任、宮崎県立宮崎南高等学校教頭 門福一が第9代校長に就任
10.4.1	校長 門福一が宮崎県立泉ヶ丘高等学校長に転任、宮崎県立延岡東高等学校教頭 石峯勝が第10代校長に就任
11.6.16 12.3.31	第51回全国高等学校通信制教育研究会総会ならびに研究協議会宮崎大会を開催 校長 石峯勝が退任
12.4.1	宮崎県立西都商業高等学校長 光成元が第11代校長に就任 定時制課程昼間の部普通科2学級(80名)募集となる。昼・夜間合同職員室、学習室、進路指導室、及び 教室(プレハブ2階建)が竣工。エレベーター設置、第二会議室竣工
14.3.31	校長 光成元が退任
14.4.1	宮崎県教育庁教職員課課長補佐 田代義博が第12代校長に就任
15.10.26	宮崎県立宮崎東高等学校創立30周年記念式典挙行
16.4.1	校長 田代義博が宮崎県立小林高等学校長に転任、宮崎県立延岡第二高等学校教頭 南崎貞克 が第13代校長に就任
18.4.1	校長 南崎貞克が宮崎県立高原高等学校長に転任、宮崎県立延岡商業高等学校校長 栗山重隆が第14代校長に就任
20.3.31	校長 栗山重隆が退任
20.4.1	宮崎県立宮崎東高等学校教頭 松田忠幸が第15代校長に就任
21.4.1 22.3.31	通信制課程普通科の募集人員を350名に増員 校長 松田忠幸が退任
22.4.1	宮崎県立延岡星雲高等学校長 木許恭三郎が第16代校長に就任
23.10.12 24.3.31	普通教室棟(定時制棟)新設 校長 木許恭三郎が退任
24.4.1	宮崎県立宮崎南高等学校教頭 佐多裕之が第17代校長に就任
26.2.19	渡り廊下竣工(管理棟と定時制棟との連結)
27.3.31	校長 佐多裕之が退任
27.4.1	宮崎県立日向高等学校長 磯上照男が第18代校長に就任
29.3.31	校長 磯上照男が退任
29.4.1	宮崎県立延岡工業高等学校長 河野明浩が第19代校長に就任
31.3.22 31.3.31	普通教室20教室空調設備整備(10年リース) 校長 河野明浩が退任
31.4.1	宮崎県立日向ひまわり支援学校長 黒木敏浩が第20代校長に就任
令和 3.3.19	校内GIGAスクールネットワーク構築工事整備
4.3.31	校長 黒木敏浩が退任
4.4.1	宮崎県立飯野高等学校長 長谷川岳洋が第21代校長に就任
6.3.31	校長 長谷川岳洋が退任
6.4.1	宮崎県立富島高等学校長 小川晴彦が第22代校長に就任
6.11.9	創立50周年式典の開催
7.1.31	体育館屋根防水工事竣工